

令和4年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

施策名	目標6-1 環境リスクの評価				担当部局名	環境保健部 環境安全課 環境リスク評価室	作成責任者名 (※記入は任意)	高澤哲也(環境安全課長) 清水 貴也(環境リスク評価室長)				
施策の概要	化学物質による人の健康や生態系に対する環境リスクを体系的に評価する。				政策体系上の位置付け	6. 化学物質対策の推進						
達成すべき目標	①一般環境中の化学物質の残留状況を調査し、基礎資料として施策の策定に活用する。 ②化学物質の環境リスク初期評価調査を実施し、環境を経由した化学物質による影響の未然防止を図る。 ③化学物質の内分泌系かく乱作用について調査研究を実施し、各化学物質が人の健康や生態系に及ぼす影響について明らかにし、リスク評価を実施する。 ④子どもの健康と環境に関する全国調査を実施し、次世代育成に係る健やかな環境の実現を図る。				目標設定の考え方・根拠	・化学物質環境実態調査のあり方に関する検討会報告書 ・中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会 ・化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会 ・子どもの健康と環境に関する全国調査基本計画		政策評価実施予定時期	令和5年8月			
測定指標	基準	基準年度	目標値	目標年度	年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
1 化学物質環境実態調査を行った物質・媒体数	-	-	80	R4年度	80	80	80	80	-	-	-	化学物質対策に係る関係課室から一般環境中における残留状況を把握するために調査要望のあった化学物質のうち、優先度の高いものを調査対象物質として毎年度選定することが、「化学物質環境実態調査のあり方について」により定められている。目標値は、過去の実績値を勘案し、調査が着実に進められているとみなせる水準で設定した。
2 環境リスク初期評価実施物質数	-	-	12	R4年度	14	14	14	12	-	-	-	環境初期リスク評価の実施状況の測定指標として、評価実質物質数を選定する。目標値は、過去の実績及び情報の収集・検討状況を踏まえて設定した。
3 内分泌かく乱作用に関して、文献等を踏まえ評価対象として選定した物質数(累積)	132	H27年度	230	R4年度	180	200	220	230	-	-	-	化学物質の内分泌かく乱作用については、文献調査等を踏まえた評価対象物質の選定数について、平成28年6月に「化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応—EXTEND2016—」(EXTEND2016)で想定したレベルを実施することとしていたが、評価を高精度化する必要があるため、選定する物質数は減少させた。
4 子どもの健康と環境に関する全国調査の進捗状況	-	-	全国10万組のデータ解析を行い、健康と環境の関連性を明らかにする。	R14年度	参加者に調査を継続いただくための取組及び化学分析の進捗	参加者に調査を継続いただくための取組及び化学分析の進捗	参加者に調査を継続いただくための取組及び化学分析の進捗	参加者に調査を継続いただくための取組及び化学分析の進捗	-	-	-	次世代育成に係る健やかな環境の実現を図るためには調査を着実に進めることが必要であり、その進捗状況を測定指標としている。また、調査の推進には「参加者のデータの解析を行うことで、健康と環境の関連性を明らかにする」ためには、解析に係るデータの蓄積と化学物質の分析が必須であるため、施策の進捗状況として参加者に調査を継続いただくための取組と化学分析の進捗を確認していくこととしている。

達成手段 (開始年度)	予算額計(執行額) (百万円)			当初予算額 (百万円)	関連する 指標	達成手段の概要等	行政事業レビュー 事業番号
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
(1) 化学物質環境実態調査費 (昭和49年度)	368 (341)	373 (301)	375 (287)	359	1	<達成手段の概要> ・一般環境中の化学物質による残留状況を把握し、各種化学物質関連施策に活用するため、関係課室からの要望物質について全国規模の調査を実施する。 <達成手段の目標> ・80調査物質・媒体数の分析を実施し公表する。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> ・中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会の議論も踏まえ、着実に一般環境中の化学物質の残留状況調査を実施する。	0295
(2) 化学物質環境リスク初期 評価推進費(平成9年度)	83 (79)	83 (80)	84 (83)	84	2	<a href="https://www.env.go.jp/guide/budget/review/2022/index.html">令和4年度行政事業レビューページURL(https://www.env.go.jp/guide/budget/review/2022/index.html)</a>	0247
(3) 環境汚染等健康影響基礎 調査費 ※ 平成28年度ま では化学物質の内分秘か く乱作用に関する事業に係 る額を記載	226 (196)	226 (204)	223 (211)	219	3	<達成手段の概要> ・化学物質の複合影響等についての知見の収集・分析を行うとともに、化学物質が及ぼす健康影響についての評価方法及びメカニズム解明方法等についての検討を行う。 ・化学物質の内分秘かく乱作用に関する評価等推進するため、必要な調査研究や試験法の開発、試験等を実施する。 <達成手段の目標> ・化学物質の複合影響等及について評価検討を行う。 ・必要な調査研究や試験法の開発等の進展。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> ・化学物質が及ぼす健康影響についての評価、メカニズム解明。 ・各化学物質の内分秘かく乱作用を評価するための手法等を確立する。	0294
(4) 子どもの健康と環境に関す る全国調査(エコチル調 査) (平成22年度)	6,421 (6,396)	6,135 (6,049)	6,178 (6,139)	5,579	4	<a href="https://www.env.go.jp/guide/budget/review/2022/index.html">令和4年度行政事業レビューページURL(https://www.env.go.jp/guide/budget/review/2022/index.html)</a>	0293
施策の予算額・執行額	7,098 (7,012)	6,817 (6,634)	6,860 (6,720)	6,241	施策に関係する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	—	